大阪府感染症発生動向調査週報 (速報) 2023年第3週(1月16日~1月22日)

今週のコメント

~インフルエンザ~ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 流行拡大」

第3週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,490例であり、前週比33.9%増であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しん、咽頭結膜熱、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ6.49、0.39、0.24、0.16、0.13である。

感染性胃腸炎は前週比38%増の1,260例で、南河内9.81、大阪市北部8.36、堺市7.11、大阪市西部7.00、豊能6.78であった。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は47%増の75例で、大阪市南部0.94、大阪市北部0.57、中河内0.50である。 咽頭結膜熱は60%増の32例で、大阪市東部0.36、大阪市南部0.33、北河内0.32であった。 流行性角結膜炎は40%増の7例で、三島0.75、泉州0.33、中河内0.20である。

インフルエンザは67%増の6,097例で、定点あたり報告数は20.46であった。大阪市西部39.20、南河内31.33、大阪市北部29.35、泉州23.50、堺市23.29である。

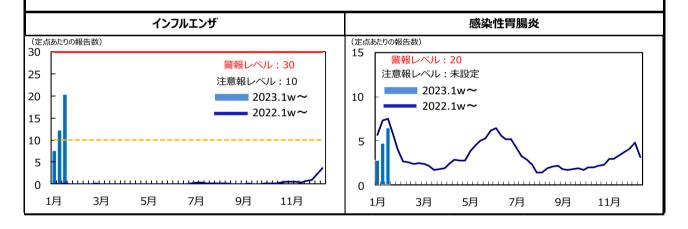


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向(2023年 第3週1月16日~1月22日)

| 第3週の 順位 | 第2週の 順位 | 感染症 | 2023年 第3週の 定点あたり 報告数 | 前週比增減 | 2022年 第3週の 定点あたり 報告数 | 2023年第3週の 年齢別 患者発生数 最大割合値 |
|------------|------------|----------------------------|-------------------------------|-------|-------------------------------|------------------------------------|
| 1 | 1 | 感染性胃腸炎 | 6.49 | 38%増 | 7.51 | 1歳_20% |
| 2 | 2 | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 0.39 | 47%増 | 0.28 | 3歳_16% |
| 3 | 3 | 突発性発しん | 0.24 | 15%增 | 0.23 | 1歳_35% |
| 4 | 6 | 咽頭結膜熱 | 0.16 | 60%増 | 0.12 | 1歳_34% |
| 5 | 7 | 流行性角結膜炎 | 0.13 | 40%增 | 0.08 | 20歳以上_57% |
| 参考 | | インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患) | 20.46 | 67%増 | 0.02 | 10-14歳_19% |

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

〜新型コロナウイルス感染症〜 基本的な予防の徹底を(マスク着用、身体的距離の確保、手洗いの徹底、密閉・密集・密接の回避)

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

第3週の新型コロナウイルス感染症の週あたり新規陽性者報告数は42,790名であり、前週より31%減少した。大阪モデルは、12月26日に警戒信号(黄)から非常事態(赤)に移行した。新型コロナウイルス感染症の主な感染経路は飛沫・エアロゾル・接触感染である。臨床的な特徴として、潜伏期間は1~14日であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の肺炎症状が現れる。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。感染拡大を防ぐには、ワクチン接種、マスク着用、身体的距離の確保、手洗いの徹底、密閉・密集・密接の回避など「新しい生活様式」の実践、感染者の早期探知、隔離、接触者調査が重要である。

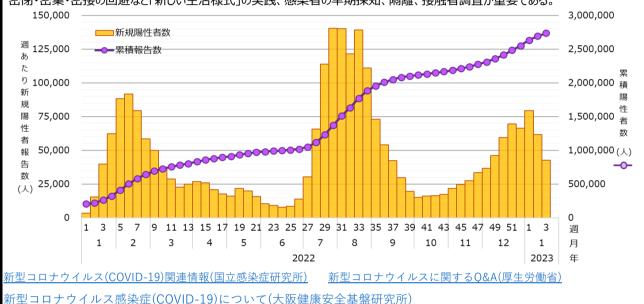


表 2. 大阪府全数報告数(2023年 第3週1月16日~1月22日)

注意:この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ> 【週報】> 全数把握疾患 をご覧ください。)

| | 疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略 | 報告数 | 豊能 | 三島 | 北河内 | 中河内 | 南河内 | 堺市 | 泉州 | 大阪市 | 報告数府内累積 |
|---------------|---|------------------------------|----|----|-----|-----|-----|----|----|-----|---------|
| 3類感染症 | 腸管出血性大腸菌感染症 | 1 | | 1 | | | | | | | 2 |
| 4類感染症 | レジオネラ症(肺炎型) | 3 | | 1 | 1 | | | | | 1 | 7 |
| | カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 | 1 | | | | | | | | 1 | 3 |
| | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | 3 | | | | | | | 1 | 2 | 4 |
| 5類感染症 | 後天性免疫不全症候群 | 1 | | | | | | | | 1 | 3 |
| り類恩未延 | 侵襲性肺炎球菌感染症 | 1 | | | | | | | | 1 | 5 |
| | 梅毒 | 7 | | 1 | | 1 | | | | 5 | 36 |
| | バンコマイシン耐性腸球菌感染症 | 1 | | | | | | | | 1 | 3 |
| 新型インフルエンザ等感染症 | 新型コロナウイルス感染症 | 42,790 2020年1月以降累計 2,735,297 | | | | | | | | | |
| 結核 | 結核 新登録患者数:88名 (内 肺·喀痰塗抹陽性 33名) | | | | | | | | | | |
| (2022年11月分) | (府内累積報告数 1,024名、内 肺・喀痰塗抹陽性 400名) | | | | | | | | | | |

(2023年1月24日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。

新型コロナウイルス感染症関連特設サイト(大阪府)